

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 114 平成 30 年 5 月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

◆URC資料室ニュース

①今月のおすすめ 平成29年度 研究報告書がまとまりました！

総合研究『福岡市における生産年齢人口の減少を見据えた施策展開に関する研究 ～「生活の質の向上」と「都市の成長」を持続させるために～』

この度、(公財)福岡アジア都市研究所では、平成29年度総合研究の研究成果を取りまとめましたので、ご紹介いたします。

福岡市の人口増加は、今後 20 年間は続く予測されるものの、福岡市が生産年齢人口はすでに減少期を迎えています。本書では、こうした現状のもとで、福岡市が今後も「生活の質の向上」と「都市の成長」を維持し、国内でも活力のある都市であり続けるための施策の方向性について検討しました。

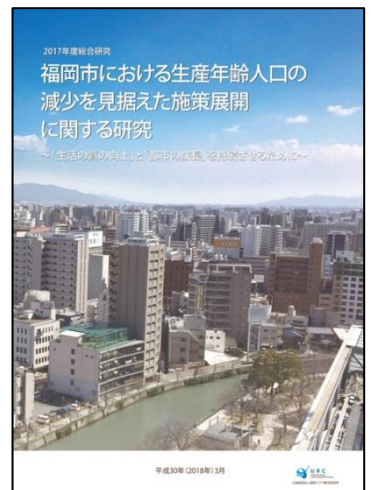
人口増加が進む中で、福岡市は、様々な年齢や、豊富な知識や経験を持つ人材が集う都市となっていますが、こうした多種多様な人材をいかに活かすのかが、今後の福岡市の施策展開における重要な課題になります。本研究では、福岡市の人口の変化および就業者の動きの分析から特徴的な傾向が見られた、現役世代労働力、女性人材、高齢者人材に着目し、人材を有効に活用すべきター

ゲットとして定めました。

分析の結果明らかとなった、それぞれの人材の層の現状や労働参加を促すための現状や課題および施策の方向性について、①現役世代労働力の確保、②女性人材の活用、③高齢者の生きがいづくりと就労としてそれぞれまとめました。

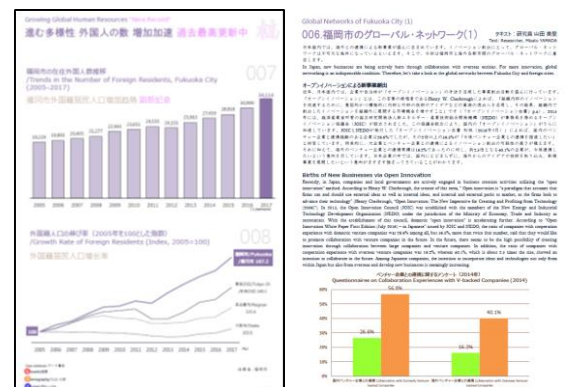
本報告書は、URC ホームページにて無料で公開するとともに、資料室でも閲覧可能ですので、どうぞお立ち寄りください。

(中村由美 研究員)



『Fukuoka Growth 2018 NEXTerA』を発行！

福岡アジア都市研究所情報戦略室では、福岡市のデータブック「Fukuoka Growth」を2年間隔で発行しており、この度、「Fukuoka Growth 2018 NEXTerA」を発行いたしました。福岡市の高い成長性を、統計データをもとにわかりやすく紹介する日英中併記のデータブックです。また、平成29年度に、ホームページ上で定期的に発信した各研究員による調査研究レポートも、まとめて収録しております。資料室にも用意しておりますので、ご希望の方は直接お越しください(無料です)。



(畠山尚久研究主査, 山田美里研究員)

②2017 アジア都市景観賞受賞地域のポスター展開催中 2018 アジア都市景観賞 募集開始!

2017 年アジア都市景観賞授賞式が、2017 年 9 月 28 日～29 日に中国の銀川市で行われ、2017 年度は、8 か国から 53 件のエントリーがあり、その中からアジア都市景観賞 13 件、アジア都市景観賞審査員賞 2 件の計 15 件が表彰されました。

ただ今、アジア都市景観賞の事業を広く知っていただくため、また、資料室の PR のため、受賞地域(下記 15 件)のポスター展を開催しています。この機会にご覧くださいましたら幸いです。

なお、2018 年度の「アジア都市景観賞」の募集を開始しました。締め切りは 5 月末日です。

○2017 年度授賞地域

*日本 4 件【アジア都市景観賞】

千葉県柏市、群馬県草津町、奈良県十津川村、

◆URCニュース

①新職員からのご挨拶 菊澤育代 研究主査

こんにちは、4 月より URC 研究チームに着任しました菊澤育代です。

地域の環境問題に関心を持ち、シンクタンク、NPO、大学等で関連する研究・事業運営に携わってきました。アジア・太平洋地域における環境問題や、政策、人々の活動を見るなかで、課題は環境に限らず、常に社会のしくみや経済、文化、ガバナンス等の多様な条件に大きく左右されることを実感してきました。こうした経験から、現在は、地域が抱える多様な課題へと視野を広げ、地域づくりや人々の間柄に関心を寄せています。

このたび、福岡市という味わい深い大都市にて政策研

②国際研修受入報告

いよいよ平成 30 年度が始まりました。4 月、中国から 2 団体、タイから 1 団体、韓国から 7 団体、合計 3 か国、10 団体、214 名が福岡市の住み良い街づくりに関する取り組みを学ぶために来福しました。

視察は、福岡市市民福祉プラザや福岡市クリーンパーク臨海工場、福岡市立心身障がい福祉センターなどで行われました。また、福岡市の地域包括ケアに関する取り組みや人に優しいユニバーサルデザイン、先進都市の事例紹介としてアイラ

ンドシティ事業について研修を実施しました。

4 月の国際視察受入で印象的だったのは、韓国の大学生の受入が 2 団体の 93 名あったことです。介護分野での就職環境が厳しい韓国の大学生は、福岡市が抱えてい

大分県豊後高田市

*海外 11 件

【アジア都市景観賞】

韓国 釜山市、全州市、ソウル市、

中国 佛山市、靈武市、普洱市、

インド プネ市、

ベトナム タムキー市、

インドネシア バンジャルマシ市

【アジア都市景観賞 審査員賞】

中国海南省澄邁県

インド スラット市



写真：URC 撮影 (山崎三枝 司書)

究に携わる事となり、挑戦への期待で胸がいっぱいです。福岡県歴 7 年と少し、福岡市のど真ん中で働くのは今回が初めてで、まだまだ知らないことばかりです。ですが、この知らないことを武器に、ヨソモノの視点で福岡市の都市政策に切り込んでいけたらと思います。

今年度の総合研究のテーマは Society 5.0、社会と技術の融合による、より良い福岡を目指し、お手伝いできればと思います。

る介護分野の労働人口不足問題に興味を示していました。今回の視察が契機となり、この問題解決に繋がることを期待します。

写真：URC 撮影(李英雄
国際視察研修担当)



韓国釜山広域市蓮境区社会福祉課
の福岡市市民福祉プラザ視察



韓国東洲大学校の福岡市立心身障がい
福祉センター視察



韓国大同大学校の福岡市介護実習普及センター視察

③研究紀要『都市政策研究』の投稿論文を募集しています。

研究紀要『都市政策研究 第20号』に掲載する投稿論文を募集しています。論文の内容は、都市政策に関連する研究成果をまとめたものとし、特に、福岡市の都市政策に対する何らかの提言的な内容を含むことが望ましく、新規性または有用性のあるもので、原則として未発表のものに限ります。

投稿期限は、査読を要する論文は2018年8月31日、査読を要しない論文は2018年9月30日です。投稿資格は、原則として賛助会員、福岡市職員、及び当研究所職員ですが、大学の研究者等で編集委員会が認める場合は

この限りではありません。

投稿要領は当研究所ホームページに掲載しています。なお、投稿を検討・希望される場合は、6月末日までにご連絡をお願いします。

また、皆様のお知り合いやお近くに論文を発表されたい方や、興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。投稿をお待ちしております。

【専用メールアドレス：toshiseisaku@urc.or.jp】

(山本美香 主任研究員)

◆特別寄稿 *一人一花の楽しみ* 第3回 5月 菖蒲(アヤメ)・撫子(カーネーション)

福岡市が提唱する一人一花運動、157万人の市民が一花を育てると福岡は157万本の花溢れるフラワーシティになる。

4月キックオフ警固公園春フェスは「花満開」のイベント、巨大一花ロゴもお見事！会場を飾った花たちは最終日に市民や団体などに無料配布され、花のおすそわけで



一人一花 巨大ロゴ

新たな一人一花が沢山咲くことを願った粋な計らいで私達は5月を迎える。

5月は嬉しいゴールデンウィーク、どんたく・子どもの日、母の日とお祭りや行事三昧です♪

まずは、菖蒲

のご紹介、アイリス(Iris)はアヤメ科の総称。ギリシャ神話のイリス(Iris)は虹を渡って神々の伝令を務め、背中に翼を持った虹の女神。アヤメを聖花とした。花言葉は吉報、希望、知恵など…原産は日本をはじめ多国に渡り、品種は200種以上。私的には菖蒲と呼びたい。ちなみに菖蒲湯に使う菖蒲はサトイモ科の植物で花姿が全く違う別物。アヤメ科は花菖蒲と呼んで区別している。アヤメ(文目・菖蒲)・ハナショウブ(花菖蒲)・カキツバタ(杜若)は「いずれ菖蒲か杜若」と云われる程見分けが付きにくい素敵な花たちですが、クイズのように葉や花姿、咲く場所で見分けると楽しい。シャガやイチハツも同じアヤメ科。万葉・江戸時代から愛される歴史花で、

写真：福岡市提供 執筆：福博：花まち研究会会員 きむらみえこ(環境演出家®)



舞鶴公園花菖蒲園

初心者には育てやすい丈夫な花たちです。

一方、5月のヒロイン花はカーネーション！うんちくは多すぎて…世界中の母達に贈る幸せ花。花言葉は「感謝！」こちらもギリシャ神話の頃から咲いている歴史花。現在では品種改良されなんと3000種以上、原種は撫子、ダイアンサス。乾燥を好み、太陽が大好きな育てやすい花。アヤメ、カーネーション栽培ビギナーは鉢植えがおすすめ。

赤玉7腐葉土3にバーミュキュライトを混ぜ、水はけの良い土に植え、液肥を月2、3回与え、風通し良く育てれば良く花が咲く。いつもは腕白な男の子が母の日にカーネーションをもつ姿は何とも微笑ましく、つい幸せな気分になる♪



中央区の団子三兄弟

◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2018/4/29 西日本新聞 朝刊 25p)

無料動画アプリ『Buzz Video XGCF』西日本最大級のショート動画コンテストを開催！

URC OB 柳基憲さんが起業された会社主催のイベント広告 (2018/4/26 熊本日日新聞 夕刊 1p)

廃校舎 生かさにゃ損バイ 民間活用 九州に推進組織

「九州廃校サミット」が21日に設立

FDC 石丸修平事務局長が発起人の一人としてコメント(@印＝以下同じ)

(2018/4/26 日経産業新聞 1p)

START up X 開業率首位 福岡の野望 九大生も創業者/天神に官民拠点 街のにぎわい 若者引き寄せ
URC の開業率データが引用される。

(2018/4/22 長崎新聞 朝刊 6p)

廃校舎利用 地域元気に 九州で「サミット」設立 @

(2018/4/22 毎日新聞 宮崎 25p)

九州廃校サミット:「廃校」活用策で連携 ノウハウや課題など話し合う 第1回、宮崎で開催 @

(2018/4/22 宮崎日日新聞 朝刊 29p)

廃校活用で地域活性 宮崎市・ムカサハブ代表ら 九州ネットワーク発足 @

(2018/4/11 交通新聞 1p)

秋田公立美大と締結－包括的連携協定、2校目－JR秋田支社

市民研究員 OB 藤浩志さんが秋田公立美大副学長として締結式に出席

(2018/4/7 西日本新聞 朝刊 23p)

はなしの横丁:中央区 IoT 実証実験の報告会
FDC らが支援する実証実験報告会の開催報告

(2018/4/5 毎日新聞 朝刊 22p)

週刊エ★ン★タ★メ 福岡 EVENT★ワイド★TOPICS 美術家6人の作品点在 福岡城 まるごとミュージアム 8日まで散策がてらアート

に触れて

市民研究員 OB 藤浩志さんが出典 作品 Toys Blooming が紹介される。(★印＝以下同じ)

(2018/4/3 西日本新聞 朝刊 17p)

文化 美術 x 歴史的建造物 櫓の構造生かして 福岡城まるごとミュージアム 美術家6人の作品展示 ★

◎雑誌

(2018/4/16 週刊住宅 8p)

各都道府県の取組み事例を資料化、景観を生かしたまちづく

り、賑わい創出・観光客増加を促進

南魚沼市の 2015 年アジア都市景観賞受賞が紹介される。

(2018/4/1 Kyushu Marketing EYES 九州マーケティング・アイズ Vol. 85 2018 April 春:特集 福岡は真の国際都市になれるか?)

2～3p 九州マーケティングの潮流:国際ビジネスから考える、福岡の国際化の明日はどっちだ!?

URC OB 山本公平さんが執筆

4～9p 座談会 福岡は真の国際都市になれるか?

柳基憲研究主査(座談会当時)が座談会に参加

URC OB 山本公平さんがコーディネーターを務める。

平成29年度ナレッジコミュニティの講師を務められた奥田聖さんと、鄒艶さんが座談会に参加

(2018/4 不動産研究 第60巻第2号 26～41p)

都市化著しいヤンゴンとプノンペン住宅事情－ミャンマー・カンボジアの現状から、今後の展開を俯瞰する－

野田順康特別研究員の「都市政策研究 第18号」1～8p 掲載論文「都市化・都市成長の世界的潮流」が引用される。

◎テレビ

(2018/4/27 TNC テレビ西日本 16:50～19:00 ももち浜ストア特報ライブ)

18:16頃～URC OB 柳基憲さんが出演 南北首脳会談の取材を受け、福岡に住む韓国人としてコメント

◎ラジオ

(2018/5/6 RKB ラジオ 11:30～12:54 ニ丁目お茶の間劇場)

YOKATOKO 福岡に URC OB 柳基憲さんが出演 最近の韓国情勢と起業された Global Connect Fukuoka の事業内容について紹介

(2018/4/29 18:00～18:55 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん) 世界を変えるラジオ)

URC OB 柳基憲さんが出演 起業された Global Connect Fukuoka の事業内容について紹介

(2018/4 毎週金曜日 18:00～18:25 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん) スポガで Ready Bowl!!)

市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。

編集後記 平成29年度の総合研究報告書と同時に情報戦略室のデータブックができました。いずれも、ホームページからダウンロードしてご覧いただけますが、印刷製本したものを当資料室で閲覧・貸出いただけますのでどうぞご利用ください!

ただ今開催中の「アジア都市景観賞 2017」のポスター展ですが、今月いっぱい終了予定です。まだ、ご覧になっていらっしゃらない方は、この機会に是非ご覧になってはいかがでしょうか。公式ガイドブックも進呈しています。

毎年この時期に募集を開始する「市民研究員」ですが、今年度はお休みします。大変残念ですが、応募を考えてくださっていた方は、会員研究員がごさいますので、ご検討くださいましたら幸いです。

ところで、3月から始まった「特別寄稿*一人一花の楽しみ*」ですが、今回はアヤメとカーネーション。毎回タイムリーなお花をご紹介くださり大変楽しみですが、この春、私的には断然「小手毬」でした。初めて女の孫を授かった朝、娘の長男の小学校初登校を終え、二男を保育園に登園させ終えたとき「産まりました!」の嬉からのメール。その時、咲き始めた小手毬が私の目に飛び込んできました。その保育園には珍しく小手毬の生け垣があるのです。その花はその後何度も忙殺される私を癒してくれました。だから名前も「小手毬」にちなんだものが良いなと希望していたのですが、さすがに「毬」は使われませんでした。

コブシに始まる(私的に)白い花のリレー、今は市役所前九州広場のヤマボウシが満開ですよ!(崎)